

## 会 議 録

会議名	令和6年度第2回丸亀市総合教育会議
開催日時	令和6年11月28日（木）10:15～12:10
開催場所	丸亀市立飯山中学校
出席者	<p><b>出席委員</b> 松永恭二（市長）、末澤康彦（教育長）、徳永秀文、松岡舟、井下由美、立石 陽志（以上敬称略）</p> <p><b>事務局</b> 市長公室長 栗山佳子、（市長公室政策課）藤井慶子</p> <p><b>市出席者</b> 教育部長 窪田徹也 （教育部総務課）課長 土井節子、副課長 後藤幸功 （教育部学校教育課）課長 岩井俊明 （飯山中学校）校長 茶圓 徹、教頭 横井育代、中村教諭</p>
議 題	(1) 英語授業におけるオンライン英会話について（視察）
傍聴者	—
発言者	議事の概要及び発言の要旨
岩井課長 茶圓校長	<p>&lt;視察の流れについて説明&gt;</p> <p>&lt;ALTによるタブレットを活用した英語授業の視察&gt; &lt;英語授業におけるオンライン英会話の視察&gt; &lt;授業視察 終了&gt;</p>
藤井	<p>本日の総合教育会議は現地視察とし、今年度モデル校として飯山中学校で取り組んでいる英語授業について見学させていただきました。視察の感想や質問など、飯山中学校の先生を交え意見交換していただきます。</p>
横井教頭	<p>飯山中学校の英語教育の取組について、説明します。</p> <p>まず、ALTについては、今年度から市内各中学校に1名増の2名体制でのALTの配置としていただいております。勤務体制については、1名は中学校に常駐し、もう1名は週5日のうち3日は午前小学校の授業、午後本校で勤務、残りの2日は本校で1日勤務となっております。</p> <p>ALTが2名体制となったメリットについて、英語授業のうち、ALTとの授業数が増加し生徒が英語に触れる機会が格段に増え、英語力の定着に繋がっていると感じています。どのクラスも、ALTとの英語授業は月に1回から2回であったところが、今年度は2名体制となり、これまでのALTの在籍が午後のみであったような時間的な制限がなくなったことで、全クラスにおいて週1回はALTとの授業を行え、また、本日視察いただいた3年1組の授業のように、日本人教師とALT2名の合計3名が同じ授業に入ることが可能になりました。</p>

複数の教員により即座に生徒の質問に答えられる、発音や英作文の指導が授業の中でできる、またパフォーマンステストという ALT と一対一で会話をするテストにおいてもそれぞれに担当する生徒の数が3分の1となり、生徒一人一人の英語での会話の時間が長くなるということなどが、ALT 2名体制の効果と考えております。また、オンライン英会話も回を追うごとに、やりとりがスムーズになってきており、会話への意欲が高まりつつあるとうかがえます。

加えて、ALT の活躍の場が、授業以外でも増えたことが挙げられ、本年度の活動例では、まず、給食の時間に英語による5分程度の放送を年間10回実施している中で、ALT 2名による対話形式で、飯山町における祭行事など文化的な内容を取り扱って放送しております。生徒の英語の理解力にも差がありますので、放送の前後には廊下の掲示板に、原稿を貼り内容について文字で確認できるような工夫や会話のスピードなどにも気をつけながら、生徒たちにとっては非常に楽しい給食の時間となるような活動になっております。

また、10月29日(火)の午後の2時間を利用し、市内公立中学校に2名ずつ配置されているALT10名が飯山中学校に集まるイングリッシュデーを開催し、ALT 1名と生徒3名の一組で、生徒から日本の文化を、ALT から自身の出身国の文化をそれぞれ紹介しました。生徒が英語で一生懸命コミュニケーションを取ることで異文化を理解しようとする意欲がうかがえ、有意義な時間となりました。

来年度に向けては、対面での給食が今後可能になれば、ALT が各クラスを回り、生徒と会話しながらの給食、その後の昼休みも生徒たちと過ごせるような時間を持つなど、英語にさらに触れる機会を増やしたいと考えております。

中村教諭

私からは、オンライン英会話についての説明をさせていただきます。

6月から英語の授業時間の中で5回、オンライン英会話を実施しており、その際の生徒の様子を見ますと日頃の授業の成果を試せる場面になっていると考えております。真剣な表情で話を聞き、会話しようと努め、英会話に対する興味関心が高まっているとともに、英語を使用することに対する心理的な負担も少なくなったと感じられます。

事前にオンライン英会話中に取り扱って欲しい文法等を事業者伝えていたため、日常会話に割ける時間が少ないことが課題で、生徒へのアンケート結果としても、もっと自由に会話したい生徒がクラスの大半を占めております。会話したいという願望が強まっていると思われるので引き続き事業者には伝えたいと思っております。

また、オンライン英会話実習にも一教室に教員が3名は必要と思っております。1名は全体の状況を把握しながら指示を出し、あと2名が遅れがちな生徒のフォローやインターネットの通信トラブルがあった場合の個々のタブレット等の対処などを行うため、特に導入時には3名体制でスタートさせるのが望ましいと考えます。また、英語の授業時間で実施すると教科書の進行が遅れるため、オンライン英会話は総合学習の時間等を利用するのが望ましいと考えております。

次にオンライン英会話授業の時期ですが、今年度は6月、9月、10月、11月、5回目として3年生は12月に、1、2年生は1月の実施を計画しており、3学期は体調不良で欠席する生徒が増えるため、1、2学期中に終了するような計画で今年度は様子

<p>末澤教育長</p>	<p>を見ています。人数については、1回目から3回目は生徒3人組で行いましたが、今回の4回目から2人組でやっており、生徒の反応も肯定的なものがほとんどでしたので、将来的には一對一の会話ができるよう段階的に目指していきたいと思っています。</p> <p>タブレットを使用する上で、音声が届かないなどハード面でのトラブルについては、生徒も慣れてきており問題なく進めています。校内で2クラスがインターネットに接続することが現状では難しく、ポケットWi-Fiを併用して対応するなど、通信環境が課題となっています。</p> <p>ご質問やご意見などありましたらお願いします。</p>
<p>松永市長</p>	<p>本日は、授業の視察をさせていただきありがとうございます。</p> <p>3年生の英語の授業については、2名のALTが教室にいてフォローしながら、また生徒も楽しんで授業に取り組めるような先進的な授業をされており、想像を超えるものでとても感心しました。他の中学校でも同じような授業の風景が広がればいいと思いました。また、オンライン英会話の授業についても、生徒たちがタブレットを難なく使用するなど、先生方のご苦労がありながら、英語の授業のスタイルは時代に合わせて進化しているということがものすごくわかりました。引き続き本市としても生徒の学力向上のためにできることがあれば注力していきたいと思いました。</p>
<p>徳永委員</p>	<p>私も英語の授業が進んでいることに感銘を受けました。先日、新聞記事に、日本の英語力は、世界で92位と前年よりも落ちているとありました。トップの国はオランダで、幼児期からバイリンガルの教育をしているということで、日本でも本日の授業のように生の英語に触れる機会を増やすことで、英語力を身につけてもらいたいと強く思いました。また、全国学力学習状況調査の結果において、飯山中学校は英語の成績が伸びていたように思うので、英語に対する自信が結果として出ていると感じました。</p> <p>そこで、先進的な英語の授業を行うことで、先ほど伺った英語力の変容以外での生徒たちの様子など気づいたことがあれば教えていただきたいです。</p>
<p>茶園校長</p>	<p>学習診断の結果や点数をみていると、3年生は他教科に比べて英語の点数が良くなっている傾向があり、授業で行っている英語のやりとりを通して、生徒たちの英語に対する興味関心が高まっている結果と捉え、非常に効果的だと感じています。</p>
<p>末澤教育長</p>	<p>教科の点数が上がることはもちろん狙いとしてありますが、例えばタブレットを使用し英会話をすることで自信が付き、自己肯定感につながっているような一面など、英語を突破口とし他の教科や学校生活に対する姿勢への効果などはいかがでしょうか。</p>
<p>徳永委員</p>	<p>学校内部からは見えなくても、私のように外部の地域の者からすると、先般実施した坂本念仏踊りの行事の際の生徒の様子から自信を感じたので、モデル校となっている英語の授業を通してチャレンジ精神が他の領域にまで波及するほど育ってきていると思いましたので、続けていただきたいです。</p>

松岡委員	<p>英語を習うだけでなく課題に向き合って英語でコミュニケーションをとるなど、活発な英語の授業を見させていただけました。また、英会話はスモールトークが非常に難しいと感じますが、生徒たちは、会話に使える語句の事前準備をするなど、非常に熱心で有用な授業となっていると感じました。</p>
井下委員	<p>ALT が常駐し、クラスに入るなど活躍の場が増えたことは、とても良いと感じました。生徒も会話し、理解しようとする意識や自己肯定感が上がると思います。できれば小学校にも同じ光景が広まってほしいと感じました。</p>
立石委員	<p>丸亀市の ALT が 5 人から 10 人に増え、また意欲的な ALT が多く、英語授業の質が向上するなど教育が変わってきていると感じました。また、市内の英語教諭や指導主事の先生方、校長などが県外まで研修に行かれたことも、先生方が刺激を受け、やりがいを感じることで、生徒にも学校生活を通していい影響を与えるという一番大切なところの良い取組だと思いました。</p> <p>また、自身、子、孫の世代までを考えると、人生の半分は教育を常に意識して過ごしていることになり、教育に対して丸亀市が力を入れてくれていることに感謝しています。特に、市長、教育長を始めとする関係部署において計画や予算の準備をし、それを学校現場の先生方において実践していただいている「人づくり石垣プロジェクト」が、この先も順調に進んでいくことを望んでいます。</p>
末澤教育長	<p>本日モデル校となる飯山中学校を市長に見ていただき、また私自身も英語の授業を通して、学びに対する生徒の驚きや発見が見られて有意義な機会となりました。</p> <p>本日の視察に参加した他校の英語教諭にも、授業の内容や進め方、生徒たちが笑顔で授業を受けている姿などから、実施までの過程は大変ですが、来年度から市内中学校においても、どう捉え何を指すかなど考えていただきたいと思いました。</p>
松永市長	<p>本日は飯山中学校が英語授業のモデル校ということでしたが、来年度以降市内中学校に広がっていくことに、先生方へ感謝するとともに、引き続きよろしくお願ひします。</p>
藤井	<p>これで本日の総合教育会議を終わりたいと思います。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>